

## 付帯事項（確認事項）の回答書

番号	確認事項	回答	備考
付帯事項 1	提案書に掲げる「魅力を発信する拠点としての役割」を付加した文化会館等の運営の基本的な理念について示すこと。	地域団体や市民により近い存在となるような指定事業を推進（具体的には後述）し、加えて観光や物産の情報発信も行うことで「複合的な魅力発信拠点」の役割を持った施設運営をすることが基本理念です。イベント時だけでなく館を開放することで サードプレイスとしての役割を担い、メディアによる情報発信を行うことで新たな役割についても周知して参ります。会館そのものがイベントや情報発信の媒体となるような運営を目指します。	
付帯事項 2	本事業の主眼は「芸術・文化の振興」「文化活動をはじめとする市民の多様な活動の場の提供」としており、改めて、機能向上事業計画及び要求水準に基づく事業展開をどのように考えているのか示すこと。	次のような事業展開を行うことで本事業の目的達成を目指していきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定事業（具体的には後述）、自主事業の実施により「文化・芸術の振興」を促進。</li> <li>・Web サイトでの予約システム等を通じた貸館事業の実施により「文化活動をはじめとする市民の多様な活動の場の提供」を促進。</li> </ul> ↓ これらをメディアによる発信により周知・認知。 ↓ 興業・イベントへの来館者の増加およびイベント外での施設利用者の増加を目指す。	
付帯事項 3	これまでの既存事業は時期や規模、収支を踏襲するものの、提案書では「中高年向けの偏りの	※以下はあくまでも現時点での想定となります。各内容について変更の可能性は大いにあることはご理解ください。	

番号	確認事項	回答	備考
	<p>あった公演ラインナップを見直し、幅広い世代に向けた公演開催に努める」としている。鑑賞事業、創造支援事業、交流促進事業の区分ごとに、事業の実施内容のイメージを示すこと。</p>	<p><b>【鑑賞事業「五感で感じる音楽のまち事業」(年6回)】</b></p> <p>①あきた吹奏楽コンサート(6月) 市内に加え、県内中学・高校の吹奏楽部が参加するコンサート。</p> <p>②伝統芸能／番楽フェス(10月) 県内各地で今も受け継がれている番楽を広く楽しんでもらうためのイベント。</p> <p>③和太鼓フェス(11月) なまはげ太鼓のほか、県内の和太鼓団体が出演するイベント。④今実施されているイベント(8月)</p> <p>⑤あきたピアノコンサート(8月) 県内でピアノ講師をされている方が出演する、ピアノの先生のコンサート。</p> <p>⑥クリスマスゴスペルコンサート(12月) 湯沢市内および県内でゴスペルの団体が出演するコンサート。</p> <p><b>【メディア・動画配信サービス(年1公演以上)】</b></p> <p>上記の①～⑥のいずれかをYouTubeチャンネルにて配信審査<b>【湯沢文化活動サポート事業(年2回)】</b></p> <p>※文化活動を行う団体や子どもたちに向けた講座やワークショップの企画・運営</p> <p>①YouTube配信教室(5月) 秋田県内の映像制作・配信等を行う「アウトクロープ」の代表・栗原エミル氏に講師を依頼。文化団体等の方々が自分たちの活動を広く周知するための手法としての「動画配信」講座を実施する。②川連漆器絵付け体験(9月) 子どもたち向けの絵付け体験。湯沢の文化に触れ、興味関心を持ってもらうため。</p>	

番号	確認事項	回答	備考
		<p><b>【市内アウトリーチ事業（年2回）】</b></p> <p>①演劇ワークショップ（7月） 劇団わらび座の方に、市内中高生への演劇についてのワークショップ。</p> <p>②吹奏楽ワークショップ（11月） 秋田市在住、ミラノコレクションやパリコレなどのテーマ曲の作曲を行うなど、幅広く音楽活動を行う「砂川らん」さんによる、吹奏楽部への技術指導や音楽の楽しみ方をレクチャーしてもらうワークショップ。</p> <p><b>【次世代舞台芸術人材育成事業（年3回）】</b></p> <p>①舞台の作り方講座（10月） 劇団わらび座で舞台のプロデュース経験を持つ方に依頼し、舞台の作り方についてお話していただく講座。</p> <p>②世界のエンターテインメントを知る（1月） 秋田市出身でダンサーである YOSHITAKA 氏。世界中をめぐり、ダンスを通じた交流をしている経験をお話していただく。途中、ダンスの披露も依頼。</p> <p>③検討中（2月）</p> <p><b>【いつでもコンサート事業（年6回／偶数月を想定）】</b> 隔月で実施。敷居が低く、気軽に参加できるようなイベントとして企画・運営。Web サイト上で申込を受け付ける体制を用意し、アマチュアで活動している市民やその他の地域の方が気軽に発表できる場として周知・認知を行っていきます。</p> <p><b>【湯沢まちなが事業（年2回）】</b> 市役所でのコンサート開催（6月・12月） セミプロレベルの方へ依頼し、無料のピアノコンサートあるいは</p>	

番号	確認事項	回答	備考
		ゴスペルライブなどを実施。会場では、文化会館でのイベント等の情報発信を併せて実施します。	
付帯事項 4	<p>観光・物産の拠点の運営は、自主事業としての取り組みであり、観光・物産に係る情報発信は本事業で対応することがないように確認すること。</p> <p>●旧レストランを使用しての観光・物産の拠点を設置する場合、テナントとしての入居であり、施設使用料は目的外使用料として市に納付することになります。したがって、観光・物産拠点の情報発信は、テナントとして入居する事業者が行うことになり、指定管理者が運用する情報ツールを使用しての情報発信はできません。また、テナントとしての事業は入居者としての自主事業（独自事業）であり、指定管理者がその部分の運営に関与することはありません。</p> <p>なお、光熱水費等の施設の維持管理費に対しては応分の負担を指定管理者に納付することになります。</p> <p>この仕組みでの運用が原則であるので承諾願います。</p>	<p>観光・物産の拠点運営は指定管理者の自主事業の一環であると理解し、施設内での観光物産協会の観光・物産に関わる活動は指定管理者に対して観光物産協会が費用負担いたします。</p> <p>了解いたしました。</p>	
付帯事項 5	<p>要求水準書の中で求めている「文化芸術の担い手の発掘、育成や発表機会の提供」について提案がないことから、具体的にどのような事業展開を想定しているのか示すこと。</p>	<p>上記 3. の回答の次世代舞台芸術人材育成事業などを想定しております</p>	

番号	確認事項	回答	備考
付帯事項6	子ども達が優れた文化芸術に触れる機会や伝統芸能、文化遺産に親しむ機会の提供については、具体性に欠けることから、どのような事業展開を想定しているのか示すこと。	上記 3. の回答の湯沢文化活動サポート事業などを想定しております。	
付帯事項7	<p>市民参加の取り組みに関して、ゆざわ文化会館クラブは「市民が会館運営に主体的に参画」ではないことを認識し、改めて、事業の企画立案や運営のためのスタッフの育成や研修等の取り組みをどのように考えているのか示すこと。特に、学生ボランティアを労働力として扱っているのは問題であるので認識を改めること。</p> <p>●要求水準書には、市民参加の種類として①チケット購入や鑑賞、②イベントへの参加、③主体的に運営に関わるホールサポーター、④事業パートナー、⑤企画・運営に参画するなどを示しています。また、市民からの積極的な提案を促し、助言や調整等を行う組織や人材を活用することで市民と施設をつなぐ手法も考えられる」としています。</p> <p>●要求水準書には、以下のように示しています。</p> <p>(2) 指定管理期間における取り組み 指定管理者は、様々なノウハウや知見を発揮し、以下のことに取り組み、実施について市と協議する。</p> <p>① 市民参画体制の構築 市民サポーター登録制度など、気軽に参加でき</p>	<p>ゆざわ文化会館クラブ（仮）は「市民が会館運営に主体的に参加」するためのスキームとして ご提案差し上げております。また、先般のプレゼンテーション時の質問の際にもご回答申し上げたとおり、学生ボランティアを労働力としてイベントや運営の際の人員配置としては捉えておりません</p> <p>③については、ボランティアとしてではありますが、参加意志を表明していただいた方については、基本全て受け入れをいたします。具体的には、イベントの情報を提供し、参加いただける部分でサポートしていただくという流れです。スポット的ではなく、恒常的にサポートしたい方がいらっしゃれば、受け入れを拒否するものではありません。</p> <p>⑤に関しましては、提案書にも記載しているとおり、会員に対して、アンケート等を実施し、今後希望するような企画や改善点などの提言を求めていくとしております。直接的ではないかもしれませんが、市民の声が企画や運営に活かされていく流れとなっております。</p> <p>①市民参画体制の構築 市民サポーター登録のシステムとしてゆざわ文化会館クラブ（仮）</p>	

番号	確認事項	回答	備考
	<p>る仕組みや機会を設け、市民参加につながるきっかけづくりに取り組む。</p> <p>②運営への参画機会の創出 チラシ封入作業や、開場時の入場券のもぎり、客席案内係など、文化施設の運営に市民が気軽に参加・参画できる機会の創出を図る。 また、生涯学習センター等と連携し、音響や照明等の舞台操作研修の機会を設けるなど市民力を活かした舞台作りに取り組む。</p> <p>③事業パートナーの仕組み 市民が事業パートナーとして運営に参画できる仕組みづくりを研究する。 要求水準に照らして、具体的な提案を求めます。</p>	<p>を構築します。より参画いただきやすいよう、ポイントの付与やサポーター特典などのサービスを同時展開いたします。システムへの加入促進のため、施設でのイベント時にPR活動を行い、公式Webサイトや魁新報県南版、Lineにて広報いたします。</p> <p>想定段階ではありますが、システムは以下のような仕組みを予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入会費、会費：無料</li> <li>・入会方法：LINEお友達登録によって会員登録とします。</li> </ul> <p>QRコードなどを館内に設置し促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントカード：LINEポイントカードの機能を活用</li> <li>・ポイント付与：来館ポイントやボランティア参加など、さまざまな活動に応じてポイントを付与します。</li> <li>・ポイントの活用：100ポイント=100円として館内で使用あるいはプレゼントなどを贈呈。ゆくゆくはサポーター加盟店などを募集し、加盟店でも使用が可能としたい。</li> <li>・LINEを活用することで、会員証の代わりに使用できるほか、メッセージ配信やアンケート調査、広告配信なども可能です。</li> <li>・メンバー募集については、施設内でのポスター掲示はもちろん、魁での記事掲載などで周知いたします。</li> </ul> <p>②運営への参画機会の創出 前述のシステムにより、イベント情報の発信、参加の呼びかけなどを行い、より多くの方に参画いただける機会を創出します。また、定期的な市民講座のなかで、音響や照明などの舞台操作に関する次世代育成の講座を実施し、昨今興味関心が高まっている「オンライン配信」に関する講座などを実施いたします。加えて、学習発表会</p>	

番号	確認事項	回答	備考
		<p>などの持ち込み企画での技術支援サポートなどを専門スタッフが 行うなど、市民と連携した舞台作りに取り組みます。また、次世代 舞台芸術人材育成事業の「舞台の作り方」講座で舞台の作り方を聞 いていただくなど、自主事業でのイベントで実際の舞台作りに参加 できるような研修講座なども検討しています。</p> <p>③事業パートナーの仕組み 上記登録システムを利用し、イベント運営方法を研修された市民な どには、実際に事業運営に参画できるパートナーとなっただく ため、施設の稼働率などの現状を理解し、イベントの企画や施設運 営に関わるための研修講座を検討しています。</p> <p>また、意見を吸い上げる体制（Web サイトの掲示板や館に設置する 意見箱など）を通じて、市民の方からいただいたアイデアや意見に 対して、事務局からアプローチするなどして、市民による運営参加 を積極的に実現していきます。</p>	
付帯事項 8	Web サイトにサイトマップを提案し、視認性に 訴える提案がある一方、具体的な提案がないの で、事業展開イメージについて示すこと。	具体的な提案については、指定管理者特定後に皆様と意見交換を行 いながら構築して参ります。	
付帯事項 9	稼働率向上の提案はあるが、現状から考えて、 稼働率目標の 70%はかなり高い数字であり（事 業提案した内容を変更することは、募集要項に も記述のように認められません。稼働率につい て 70%の数値を示したことについて厳格に受 け止めてください。）、達成するための方策が弱 く、達成の可能性の説得力が低い。どのような	<p>ご指摘いただいた際にも「あくまでも目標として」とお伝えしまし たが、より厳密な意味合いでの数字として認識されるとのこと でしたので、この場で下方修正させていただきます。40%の稼働率を 目指し、予約システムを導入すること、メディアでの情報発信を活 用することで目標数値に近づけてまいります。</p> <p>開かれた施設として共通エリアを活用することについては、いつ でも自由に利用できる椅子やテーブルを館内に設置し、自学場所とし</p>	

番号	確認事項	回答	備考
	<p>事業展開により目標数値に近づけていくのか示すこと。また、開かれた施設として共通エリアを活用する提案がなく、また、施設の維持管理方法についての提案がない。具体的な方法について示すこと。</p> <p>●使いやすい予約システムの導入とありますが、要求水準では、市が導入する予約システムと比較検討し、優位性の高いシステムを採用するとしていますので、「使いやすい予約システム」を具体的に示すこと。</p>	<p>での開放をはじめとした、サードプレイスとしての利用促進を行います。</p> <p>使いやすい予約システムの導入、メディア等でのイベント情報の発信、空いている日程を有効活用いただけるよう、オープンスペースとしての開放、地域の団体等への利用促進の呼びかけ（観光物産協会ネットワークでの情報発信など）を通して、稼働率促進を目指して参ります。</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>一般の市民がプライベートで活用するだけではなく、市内の企業が社内の会議や打ち合わせなどでも積極的に活用できることを周知し、積極的な空き情報の発信などをWebサイト上でも実施して参ります。また、ビジネスシーンでの活用を促進するためにも、リモート会議に対応できるよう、設備整備も行ってまいりたいと考えております。そういった活用が可能なことを併せて発信して参ります。また、会館の利用がない日を市民に無料開放する日とし、ホームページなどで事前に周知を行うことで、利用促進・稼働率アップにつなげていきます。市が保有するグランドピアノなどの楽器についても、ホールが開いている日に開放日を設けて、実際に演奏を楽しんでいただくなどの施策を実施いたします。</p> <p>利用者にとって「使いやすい予約システム」とは、時間に制限されずに利用者が利用したいタイミングで空き情報を確認し、予約・決済までスムーズに行うことと捉えており、こちらが提案したシステムにより実現が可能であると考えております。また、設備についてもどのような設備が使えるのかをWeb上で確認することができ、電</p>	



番号	確認事項	回答	備考
		<p>話やメールなどでの問い合わせや別途予約が発生しないような体制作りも必要であると考えております。</p> <p>また、提案書に記載してあるとおり、「いつでも貸館」という考えから身近なスマホを使って、施設予約について予約状況の確認、予約の実行・変更取消ができるシステムの導入を検討しております。</p> <p>この次のステップとして、市民サポーター登録システムのゆざわ文化会館クラブ（仮）との連携を考えております。</p>	
付帯事項 10	<p>施設・設備等の保守点検や維持管理に係る業務の実施方法について、具体的な提案がないので、改めて、資料の提供を行うこと。</p>	<p>別紙にて回答を提出いたします。（※ホームページでは割愛しています。）</p>	
付帯事項 11	<p>代表企業である湯沢市観光物産協会は観光、物産に特化した団体であり、類似する劇場・ホール等の管理運営の実績がなく、同協会の「主な事業内容」の中に文化芸術に関することは含まれていない。秋田魁新報社は昨年6月からあきた芸術劇場の指定管理業務に加わっているが、まだ一年あまりの実績である。ライナーハウスは舞台技術の専門企業であり、全体の管理運営、経営のプロではない。どのようにチームをまとめ、最も重要な役割を認識し、役割分担していくのか示すこと。</p>	<p>提案書に記載したとおりの組織体制で実施いたします。役割分担についても記載しております。</p>	

番号	確認事項	回答	備考
付帯事項 12	<p>スタッフの配置について、事業者からのプレゼンテーションの場において、代表企業のスタッフが事務所に詰め、必要に応じて管理運営に携わり、応援体制を構築するとの説明があったが、指定管理者の業務以外に携わるスタッフに登録された以外の人物が事務室内で執務することは認められません。したがってプレゼンの際に説明のあった代表企業のスタッフが管理運営の応援に入ること認められません。</p> <p>●改修後の文化会館は、ホール等の利用の有無に拘わらずフリーに利用できるような工夫を講じ、開館時間を22時までに変更しています。要求水準に示すように、開館日、開館時間を変更する場合は、市の承認が必要となり、基本的に、市としては、災害等特別な場合を除いて開館時間の短縮については基本的に考えていません。</p> <p>以上のことを前提に、9時～22時（開館準備、閉館整理を含む場合はさらに延長）の勤務ローテーションを、固有名詞若しくは職員A、B、派遣X、Y、Zとして、ローテーション表を具体的に示すこと。</p>	<p>代表企業のスタッフの勤務地や応援体制は、指定管理者の人件費節減に資するものとして提案しております。当然ながら代表企業と指定管理者のスタッフはお互いに、其々の業務に関わる個人情報等にはアクセスしないようにいたします。また、夜間(18時～22時)の貸館予約が発生した場合、施設内のスタッフが持ち回りで対応いたしますが、予約期限までに予約がない場合には、18時で閉館し業務終了いたします。</p> <p>観光物産協会のスタッフは管理運営に携われないことを了解しました。開館日・開館時間の変更についても、理解いたしました。</p> <p>9時～22時の勤務ローテーションは、夜勤(14時～22時)のローテーションについて下記の通り考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯沢文化会館と文化交流センターの職員を合わせた9名と派遣社員3名でローテーションする。(派遣社員の勤務時間は17時～22時)</li> <li>・文化交流センター職員が夜勤の場合は、湯沢文化会館職員が文化交流センターの日勤を行う。</li> <li>・雄勝文化会館は当該職員3名と派遣社員3名でローテーションする。(派遣社員の勤務時間は17時～22時)</li> <li>・夜勤担当以外は本勤務地(湯沢・文化交流・雄勝)で日勤を行う。</li> </ul> <p>ローテーション表を提出いたします。</p>	
付帯事項 13	<p>スタッフの採用に関して、文化会館等に勤務している市の正規職員は、指定管理者制度の導入に伴い、基本的に他の職場に人事異動するこ</p>	<p>各施設には、人員配置基準に則った勤務体制を構築いたします。現職の方（正規職員を除く）に継続勤務の諾否を聞くが、継続勤務が困難な方がいた場合には、補充を行っていきます。</p>	

番号	確認事項	回答	備考
	<p>とになっており、この職員を継続雇用することは困難 と考える。改めて、勤務シフト表を作成し、スタッフの採用計画をどのように示すこと。その際、地元雇用の考え方について示すこと。</p>	<p>採用時期を市と協議しながら、地元の方を最優先に採用してまいります。</p>	
付帯事項 14	<p>市の施策に配慮した取り組みについて、募集要項（9 ページ）での趣旨は、市内産業の育成・振興 を図るため、人材の登用や物品の購入、業務に一部委託等には、地元事業者・団体を対象 等にすることを要請している。改めて、この観点からの取り組みの考え方について示すこと。</p>	<p>募集要項に記載通り、人材の登用や物品の購入、業務の一部を第三者に委託若しくは請け負わせる場合は可能な限り、湯沢市内に本店又は主たる事務所を有している事業者・団体を対象とし、必要に応じ湯沢市内に支店、営業所等を有している事業者・団体を対象といたします。</p>	
付帯事項 15	<p>下記の点について留意し、収支計画を作成すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常ネーミングライツの収入は湯沢市の収入となること。</li> <li>・修繕費は、1 件 130 万円以上は市が行う。施設改修を実施したことから、本事業期間においては、年間 130 万円を修繕費として計上し、超過する場合は別途協議のうえ取り組むこと。過不足が あった場合は翌年度以降に精算する。</li> <li>・鑑賞事業等の指定事業に関する収支については、実現可能な金額で計上すること。</li> <li>・収入の 2 項目については、指定管理料の精算は一部を除いて行いませんので、市と事前に調整すること</li> </ul>	<p>別紙にて回答を提出いたします。（※ホームページでは割愛しています。）</p> <p>利用料金や入場料などについては、事業計画書等も含めて市と調整いたします。</p>	

番号	確認事項	回答	備考
付帯事項 16	このほか、審査講評で示した様々な確認事項については、別途、契約締結時までに湯沢市と調整すること。	了解いたしました。	